平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 077	提案機関名	かながわ西湘農業協同組合

要望問題名　湘南ゴールドの2月収穫と常温貯蔵法について

要望問題の内容　【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

湘南ゴールドでは現在、3月中旬以降の収穫で、貯蔵、出荷されている。成熟期に近づくほど果実の貯蔵性は低下する。とくに3月20日以降の貯蔵温度の上昇（庫内で15℃以上）によって、腐敗、す上がり、さび病果の発生は多くなる。常温での5月までの貯蔵を可能とし、しかも樹上での低温の被害を解決する方法の一つとしても、早期収穫果の常温貯蔵適性と貯蔵法について検討してもらいたい。

解決希望年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	[①農業技術センター]　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	**従来の常温貯蔵庫の利用のためにもね根府川分室での実施が望まれる。**

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	足柄地区事務所

対応区分	①実施　[②実施中]　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

湘南ゴールドの安定生産技術の開発

対応の内容等

高品質安定生産技術の確立するため、収穫後の貯蔵管理技術の検討を行う内容で常温貯蔵について試験を実施しており、要望がありました早期収穫果実による常温貯蔵適性についても検討しておるところであります。

解決予定年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
備　考	